

東京23区探索徒歩の旅

【5】江戸川区

2014年4月19日(土)
折笠公徳

【1】	はじめに	1月1日(水)
【2】	足立区	2月1日(日)
【3】	荒川区	3月23日(日)
【4】	板橋区	3月30日(日)
【5】	江戸川区	4月19日(土)
【6】	大田区	4月
【7】	葛飾区	4月
【8】	北区	5月
【9】	江東区	5月
【10】	品川区	5月
【11】	渋谷区	6月
【12】	新宿区	6月
【13】	杉並区	7月
【14】	墨田区	7月
【15】	世田谷区	8月
【16】	台東区	8月
【17】	中央区	8月
【18】	千代田区	9月
【19】	豊島区	9月
【20】	中野区	10月
【21】	練馬区	10月
【22】	文京区	11月
【23】	港区	11月
【24】	目黒区	12月
【25】	まとめ	12月



1. 旅前の江戸川区の印象

江戸川区は小生の出身地葛飾区の南隣にあり、昔はいろいろな面で葛飾区の良きライバルだったが、今は完全に葛飾区の負け。

小生がまだ葛飾区にいた頃の江戸川区は、海沿いに訛りのある素朴な漁師が多くいた。

その後、区の南の葛西を通る地下鉄東西線が開通すると区の実況が目覚ましくなる。

更に海沿いを京葉線が通ると葛西臨海公園など国際級の施設を有するようになる。

まさしく下町の星である。

今回の江戸川区への徒歩の旅は、下町の人情と国際都市への発展を探る旅である。

2. 江戸川区紹介

総面積は49.86km²で、23区内では4番目の広さだが、区民1人当たりの公園面積は23区内で1位である。また、高齢者が多いが子供も多いので、23区内で最も区民の平均年齢が若く、合計特殊出生率も23区内で最も高い。

東端には江戸川が流れ、千葉県に接する。区の南部は大半の地域が埋立地を占め、埋立地の南部には葛西臨海公園、葛西臨海水族園があり、南端で東京湾と接している。コマツナ(小松菜)は江戸川区が発祥の地として知られ、現在の江戸川区小松川で将軍の吉宗が鷹狩りの際、名が無かった菜が入った味噌汁を食し、「小松菜」と命名したことに由来。現在では「小松菜アイス」、「小松菜そば」等、小松菜を使った郷土料理が区内の至る所で売られている。

江戸川区の歴史は、1932年(昭和7年)10月1日に、南葛飾郡小松川町、葛西村、松江町、瑞江村、鹿本村、篠崎村、小岩町の7町村が合併して、ほぼ現在の江戸川区となった。地名は、区の東側を南北に流れる江戸川にちなむ。はじめ区名としては「松江区」が検討されていたが、松江の名前があまり知られていなかったことと、反対する町村が出たことから、区の東端を

3. 今回の江戸川区徒歩の旅

1) ルートと全体概要

(1) 往路

大月駅 → (中央本線) → 四ッ谷駅 → (総武本線) → 小岩駅

(2) 徒歩の旅

小岩駅 → 篠崎 → 鹿骨 → 一之江 → 葛西 17km

(3) 復路

葛西臨海公園駅 → (京葉線) → 東京駅 → (中央本線) → 大月駅



2) 徒歩の旅 ドキュメント

5時00分

起床。

外は薄暗く小雨。何となく寒い。

身体共、仕事の忙しさで若干疲れ気味。

この様な時こそ気分一新、徒歩の旅が良い。

今日は東京23区徒歩の旅の4回目、江戸川区へ行く。

朝食は、おにぎり、ポタージュスープ、ウインナーと卵焼きで栄養補給。

家内に大月駅まで青い折笠プリウスαで送って貰う。

いつもありがとう。夜はどさん子でラーメン&餃子を奢ります。

5時37分

中央特快東京行出発。

今日は土曜日、乗客はほとんどいない。

小生、明日も休みだと思えば気分は最高。

コーヒーを飲みながらパソコンデータ入力開始。

四ッ谷駅での乗り換えまでは車内がマイオフィス。

その後、四ッ谷駅で乗り換えて小岩駅まで行く。



栃錦の像

7時33分

総武線小岩駅に到着。

懐かしい。小岩駅に来たのは10年ぶりである。

昔に比べて近代化された感がある。

駅の中に江戸川区が生んだ名横綱栃錦の像があった。

大正14年生まれで四十四代横綱だったそうである。



小岩駅

7時42分

小岩駅出発。駅前の雰囲気も洗練された様な気がする。

フラワーロードという商店街に行く。

名前にある様に花壇が連続的にあり、

お花がとても綺麗に丁寧に手入れされている。

心暖まる。



フラワーロード

7時56分

フラワーロード終了。

14分間、お花の展覧会であった。

すっかり癒された。

ここで千葉街道を横断。

8時03分

南小岩2丁目を南下。

街並みはゴミも無く、きれいである。

天気も薄日が射してきた。



鹿骨親水緑道

8時13分

鹿骨親水緑道入口。

良いですねえ。憩いの道。緑が綺麗。

おじさんがボランティアで掃除をしていた。

8時20分

柴又街道に入る。この道で柴又まで行けるのかな。

街並みがとてもきれいである。



柴又街道

8時22分

都立篠塚公園着。

朝のひと時、のんびりした雰囲気がいへん良い。
特に何があるわけでもないが、伸び伸びと土地を使って
緑をととても大切にしている感じがする。

10分間、公園の中を探索する。



都立篠塚公園

8時32分

街中の至るところに農園がある。のどかである。

昨日八王子で飲み過ぎた旅人にとっては、
公園が多くてトイレが必ずあることは非常にうれしい。



8時44分

鹿骨3丁目～5丁目を通過中。

ほんと農園が多い。

花と野菜を大切に育てている。

区立農園もある。

眞理子農園、とても良い名前。



新中川の土手



いろいろな農園

8時50分

新中川に出る。

ここで紹介

『1938年7月に東京東部で起こった浸水戸数6万戸に及ぶ被害に対する反省から、翌年(1939年)4月、中川開削・改修を目的に東京府中川改修事務所が設置された。しかし戦争激化のため1945年4月には計画は一旦中止、事務所も廃止となる。1947年9月、カスリーン台風によって東京東部が再度浸水したことにより、改めて中川改修が検討された。1949年11月 中川改修事務所は再開され、中川放水路(新中川)の開削が本格化した。江戸川区などでは多くの家屋等の立退きを余儀なくされるなどの大工事の末、1963年3月に中川放水路は完成した。1965年3月、一級河川に指定され河川名を「新中川」に改称された。』

なるほど、新中川は小生よりも歳が若いのだった。

しばらく、川沿いに行く。いろいろな橋を楽しむ。

ほんとのどかである。

天気も良くなり、土曜日の朝、清々しい。

ジョギング、ウォーキングを楽しむ人たちと出会う。



3階建の住居群

8時54分

家並みを見ていると江戸川区は3階建の住居が多い。

お年寄りも多いが、若い人も多いという事で、二世帯住宅が多いということかもしれない。



9時00分

ここから橋の展示会が始まる。

大杉橋。デザイン的に綺麗な橋である。



大杉橋

近くにモーターボートの駐船所があった。

皆自家用か？ かっこえ～な。



代表的な
モーターボート

9時10分

一之江橋。普通の形の橋。

しかし、のどかだなあ。

江戸川区は都会というより地方都市という感じ。



一之江橋

9時17分
新椿橋。
更に河口へと進む。



芝植え作業



新椿橋

9時25分
芝植え作業中。非常に丁寧に作業されていた。
ここでも江戸川区の緑の心意気を感じられる。

9時28分
春江橋。田舎の橋という感じ。



涼風橋



春江橋

9時32分
涼風橋。色がブルーで形がオシャレ。
名前も宝塚調でオシャレ。

9時38分
明和橋。形が非常にユニークで素晴らしい。
よく見るとアーチが道左右で非対称。



瑞江大橋上の少年



明和橋

9時43分
瑞江大橋。
少年像の顔が清々しくてほんと良い顔をしている。
釣りに行く江戸川区の少年そのもの。

9時46分
新今井橋。
ここまで来ると屋形船が多くなる。
昔、設計時代、部の親睦会で屋形船を貸し切って懇親会をした事があった。
洋上で窓を叩く音がしたのでびっくりして障子を開いたら、
モーターボートに乗ったお土産屋さんがいた。(笑)



対岸の屋形船

9時50分
今井水門。ご立派。
今井水門は、新中川と旧江戸川と合流する地点に位置し、
江戸川区、葛飾区、足立区の低地帯を高潮の侵入から
守るための防衛水門であるという。



今井水門

9時55分
瑞穂大橋。ごく普通の橋。

ここで、新中川と旧江戸川が合流する。ちょっと凄みがある。

近くに交通公園があり、レインボーサイクルがのどか～。
瑞穂大橋を渡り西に方向を変え、葛西を目指す。



瑞穂大橋



新中川と旧江戸川
合流地点

10時08分
真福寺。街中の静かな寺院。
ここから住宅地へ入る。



真福寺



10時11分
西光寺。ここも静か。威厳がある。



西光寺

10時22分

環7を横断。

正式名称は東京都道318号環状7号線。
どこの地点でも立派な一級道路である。



環7

10時28分

古川親水公園入口。

ここからしばらく公園沿いを歩く。

おっと銭湯がある。

”宝来湯”宝が来る湯ですか。最高～。

お風呂好きの小生にとっては魅力的。

ぼたん桜のピンク色がとても綺麗。

藤の薄紫も負けじと綺麗。

橋の赤もまあまあ綺麗。



古川親水公園

10時42分

旧江戸川と中川を結ぶ新川に到着。

新川橋は手すり等が木造でたいへん風情がある。

橋を渡って葛西駅を目指す。



新川橋

11時03分

地下鉄東西線葛西駅に到着。

駅の周りはいよいよ賑やかで小岩駅より上かな。

江戸川区で一番の繁華街かな。

おや、地下鉄博物館がある。

メトロ文化財団。地下鉄の歴史から新しい技術までを
「みて、ふれて、動かして」を学習できる参加型
ミュージアムであるそう。



葛西駅

中には入らず、外でパンフレットを熟読しながら休憩。

ここで、はちみつレモンを飲む。

はちみつレモンにはカプリコスティックでしょ。

食べるなら今でしょ！いつものワンパターン。

(カプリコスティックは箱ごと家から持参)



11時25分

元気になって出発。西葛西を目指す。

ケヤキの素敵な緑のトンネルをくぐる。

とても立派な街道(名前無)を西葛西へ向かう。



ケヤキのトンネル

11時45分

街道をひたすら歩く。

街並みや歩いている人のウォッチングも楽しいもんだ。

たぶんこっちもウォッチングされているのだろうな。



街道

11時50分

西葛西の総合レクリエーション公園に到着。
すごい規模、さすが江戸川区。
江戸川区球場立派！



江戸川区球場

11時55分

ここから葛西臨海公園まで公園が続く。
素晴らしい雰囲気。
さすが公園面積東京一を誇る江戸川区。
公園というのは、人の心を潤しますね。



公園内の道

12時02分

こんな環境の良い緑の多い住宅に住んでみたい。



緑の中の住宅

12時06分

新長島川親水公園、なんと道が木の床できている。



新長島川親水公園

12時14分

ヨットハーバーがあった。
ヤシの木があって景色がマイアミの様だ。
(自慢じゃないが、小生、行ったことあるんす。
ブエノスアイレスからデトロイトに行く時、
乗り換えの半日で観光してもうた。)



ヨットハーバー

12時17分

今度はタイルの道がある。これもまた素敵。



タイルの道

12時28分

葛西臨海公園に近づいている。
大観覧車が見えてきた。



葛西臨海j公園が見えてきた

12時32分

葛西臨海公園に到着。
まあ、緑の多い良い所ですね。
一周してみよう。

12時35分

日本最大の大観覧車を見上げる。高すぎて首が痛くなる。
最大高さ117m、直径110m。



乗車料金は700円。

折ノ笠 「高所恐怖症の自分、絶対乗らない！
高い所の鉄骨やボルトを見てしまうと気を失いそうになる。」

読者A 「乗ったら御褒美に1万円プレゼントすると言ったら？」

折ノ笠 「絶対乗らない。」

読者B 「2万円プレゼントだったら？」

折ノ笠 「ん～ どうしようかな。」

読者C 「3万円だったら？」

折ノ笠 「しょうがないなあ。乗ってあげようか。」



大観覧車

気を取り直して日本庭園で寛ぐ。

屋台のお店、良いですねえ。
日本酒、更に良いですねえ、
でも今は我慢。
ここで飲んでしまうと the end
になってしまう。



日本庭園



日本酒屋さん

12時52分

腹減った。

レストラン ブルーマリンに入る。

さて、何にするかな。

イカとエビのかき揚げ丼with味噌汁 & 御新香。

見た目→まあまあ。味→まあまあ美味い。

会社のかき揚げ丼レベルかな。

外のテラスで食べるので、気分は最高。

あっという間の5分で食べてしまった。

よし、元気いっぱい、ファイト一発！

それでは海の方に行ってみよう。



かき揚げ丼

13時08分

海に出た。ついに江戸川区の最南端に来た。

遥か向うに東京ゲートブリッジや若洲の

埋め立て地が見える。

ディズニーランドのスペースマウンテンや

シンデレラ城も見える。

そして、海。海は良いなあ～。



江戸川区の最南端

さて、十分休憩したので出発。

JR葛西臨海公園駅へ。

途中、屋根より低いこいのぼりがあった。

13時18分

JR葛西臨海公園駅着。ゴール！

走行距離20km。時間5時間30分(含休憩)

お疲れ様。

江戸川区は素晴らしかった。

特に公園の多さとその内容の充実。

区民の心の拠り所になっていると思う。

街中に農園が多くあり、とても素朴な

雰囲気がある。

花や野菜を皆で大事に育てている感じがした。

そして、海や川の生活がある。

江戸川区民はきっと穏やかな人が多いのではないだろうか。



葛西臨海公園駅



こいのぼり

3)トピックス

(1)江戸川区の農業

江戸川区の農業は、東京という大都市のなかで営まれる都市農業。大消費地に位置し、消費者の身近で安全で新鮮な農産物を生産・供給するとともに、うるおいある緑や防災機能を提供するなどまちづくりにおける重要な役割、また、自然とのふれあいの場として生活環境を豊かにするなど様々な役割を担っている。

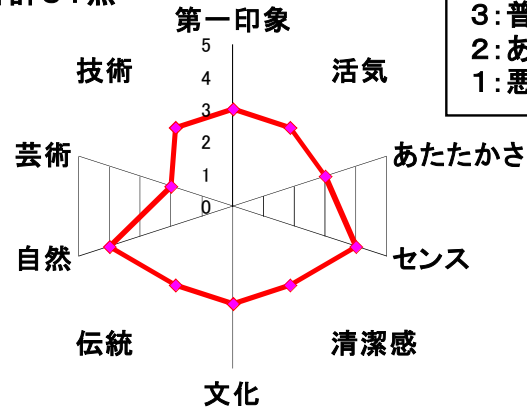
このような都市農業は、区民の理解と協力のもとに農業者、区民、行政等がそれぞれの役割を持ち協力、協働することにより維持発展していくものとする。

4. 旅後の江戸川区の印象

1) 評価

評価項目		点数
主観的 評価	第一印象	3
	活気	3
	あたたかさ	3
	センス	4
	清潔感	3
客観的 評価	文化	3
	伝統	3
	自然	4
	芸術	2
	技術	3
合計		31

江戸川区
合計31点



2) 全体を通して

江戸川区はやはり発展がめざましかった。

小岩から海に向かって南下したが、海に行くほど近代化されていく。

下町情緒豊かな部分と近代的住居都市と国際級の公園がある。

江戸川区、これからも下町と近代化をうまくバランスさせながら発展して行ってほしい。

5. 自身思っていることに対するフィードバック

1) 23回/年の徒歩の旅は、回数的にも大きなチャレンジとなる

→4月中旬で4回目のペースはまだ遅い。

やはり23回は時間の確保が大きなチャレンジとなる。

2) 最新のモバイルパソコン導入により移動中の生情報ブログ作成にチャレンジする

→マイクロソフトXPから8.1は、まだまだ慣れない。

特に自分がやりたいメニューを探すのに相当の時間が掛っている。

(3) 有言実行、周りにやるぞと言ってしまった、もう逃げられない

→仕事の疲れが多少あっても、けつを叩かれる。

(4) 田舎のおじさんは少しは都会的センスが磨かれるだべか

→江戸川区で少し刺激されたかな。

(5) 自分なりの日本の心を構築していく

→下町の発展に感動。